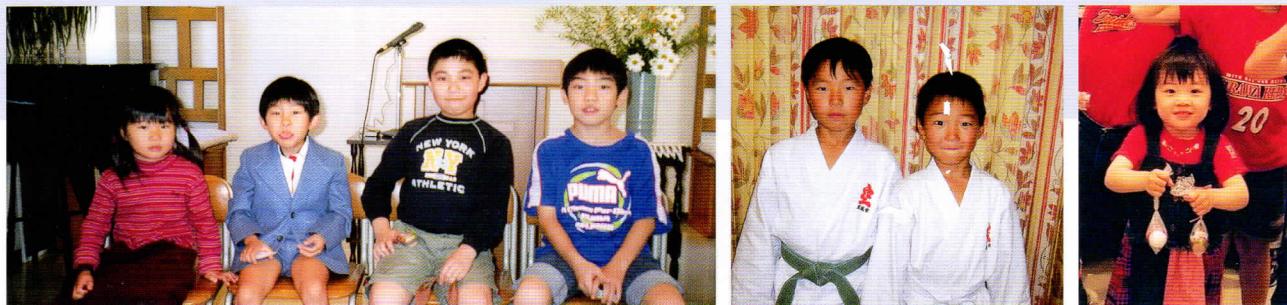


## 2004年度 各部会（2）

〈小枝会〉



〈キリスト教講座（ぶどうの会）出席者〉



〈病床聖餐式〉(2004・4・11)

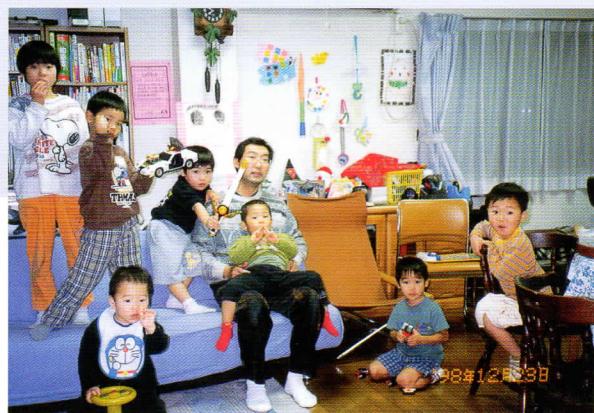


—関谷孝輝兄を囲んで—

〈礼拝出席者の皆さん〉



## 子ども会活動



はじめての子どもクリスマス  
(牧師館にて)  
(1998・12・23)



イースターエッグ作り

子どもイースター  
(2000・4・22)



イースターの紙芝居



夏の子ども会 (2001・9・1)



埼玉地区修養会子ども会から参加 (2001・8・3)  
- 石橋秀雄牧師 (後列右) と格闘のあとで -



礼拝とクッキー作り (2001・12・22)



礼拝、クリスマスピデオ、クッキー作り (2002・12・21)

-子どもクリスマス-





## 月刊誌掲載 II (1)

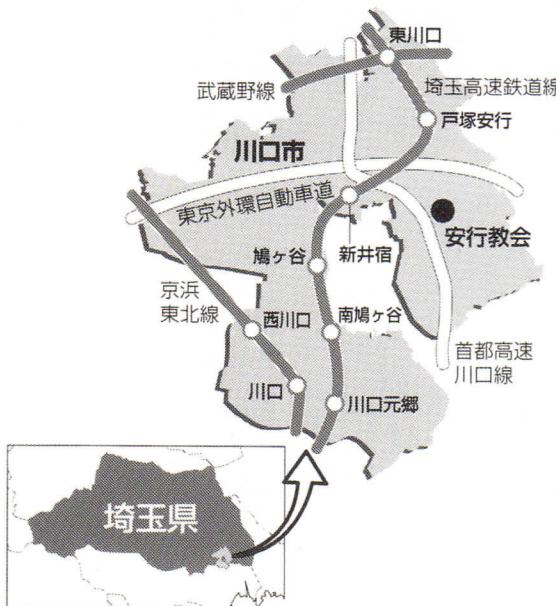
信徒の友 (2001年12月号)

## ここに教会がある

あんぎょう

## 安行教会

ひとりひとりの役割の重さを自覚して担う



長友國子さん。受洗や海難事故で夫を亡くしたことや転居など、「10年ごとに大きな転機が訪れてきます」と語る。15年前に教会の近所に移り、転会したが、今は大宮から2時間近くかけて通う。伝道委員を長く務め、新来会者への配慮を欠かさない。「夫が亡くなったカリブ海に行く」のが夢。

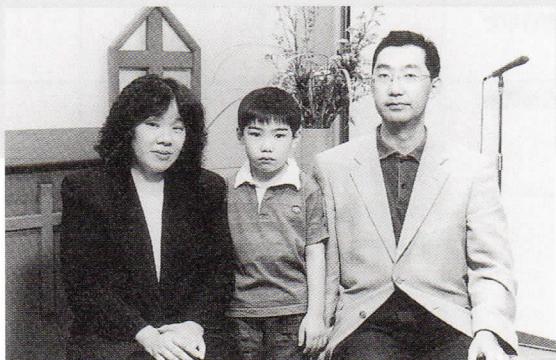
午前の祈祷会。黙祷、讃美歌に続いて、出エジプト記28章を輪読してから、しばらくの間、黙読した。牧師から幕屋や祭服の図が示され、イエスが批判されたのは律法ではなくて律法主義であったことが説かれた。その後、「日毎の糧」の教会のために、誕生者のために、主日礼拝のために全員が祈った。



矢部登代子さん宅で開かれていた教会学校から教会に連なり支えてきた人々。左から、田口幸子さん、阿久澤美智子さん、峯岸光子さん、尾木房子さん、西川弘子さん、石井わかさん。

## 月刊誌掲載 II (2)

信徒の友 (2001年12月号)



田なかおる牧師・田中篤司さん夫妻と長男の守くん。



午前の祈祷会に集まった人々。

子どもと大人と共に守る礼拝の幼小科（小枝会）の子どもたち。（提供写真）



千葉泰子さん。小学校6年時の時、初めて教会へ。疎開していた松山市で宣教師の影響を受けて、松山教会で受洗。現在は、キリスト教カウンセリングセンターの池袋相談室で、こころの相談にたずさわっている。「来談者の問題や悩みを聞くことが一番の仕事です」と語る。



夜の祈祷会に集まった人々。  
午前の祈祷会と同じ聖書の個所を学んだ。



阿久澤紀雄さん・阿久澤美智子さん夫妻と長男の誠さん(中央)。紀雄さんは、学生時代、長野県飯田市の入舟教会に泊めてもらい、勧められて聖書を読むようになった。大学時代、この教会で受洗。東洋英和女学院中等部教頭として、キリスト教教育にたずさわる。現在、会計役員。美智子さんは、友人に誘われて教会へ。この教会の始まりとなった矢部登代子さんの影響を受け、高校時代、受洗。婦人会副会長を務める。誠さんは、グループホームから「すい一つばたけ工場」に通い、クッキーやパンを作っている。夫妻は、「息子を通して一生懸命に生きる意味を知り、障害を個性と考えるようになった」と語る。